

# DIA

シラン系浸透性吸水防止材

# ダイヤ ハイセラガード

F☆☆☆☆

ダイヤハイセラガードは、特殊シラン系化合物を主成分とした浸透性吸水防止材です。張りタイルの目地部をはじめ、コンクリート、石材、レンガ等の無機質構造材に処理することにより、躯体中の湿気や水分と反応し活性化すると同時に、構造材の成分と結合して固化し、美観を損うことなく構造物に吸水防水層を形成する反応性の保護材です。低粘度の液体ですので施工はとても簡単。各種仕上げ塗材を施工することも可能です。

## 防水性

## 撥水性

## 通気性

● **極めて優れた浸透性を持っています。**  
分子構造が10オングストローム程度と非常に小さいため、すばやく浸透します。

● **雨水等の外部からの水の侵入を防ぎます。**  
ハイセラガードの吸水防止層は、雨水の侵入を防ぎます。

● **優れた通気性を持っています。**  
表面被覆形や充填形と異なり、コンクリート中の水分と反応して撥水力をだすため、水は通さず高い通気性は保持します。

● **耐久性に優れた保護層を形成します。**  
処理面内部に深く浸透した保護層は、紫外線の影響を受けにくく、また、熱や温度変化に対しても影響されず、長期間吸水防止性能が持続します。

● **現状の外観を損うことなく仕上がります。**  
ハイセラガードは無色透明、またコンクリートとの反応で変色することはありません。躯体表面はそのまま外観を維持します。

# ダイヤハイセラガード

## ■標準施工工程

### ビフレッシュタイル工法・吸水防止工法

工程	材料名	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
下地調整	・タイル張替え、クラック修理、収縮目地処理、エポキシ樹脂注入などタイル外壁面の補修を行う。 ・エポキシ樹脂注入材にて浮きや剥がれを補修、汚染した部分は溶剤にて完全に除去する。						
洗 浄	・汚染物質を洗浄し、十分に乾燥させる。						
上塗り	ダイヤハイセラガード	12kg	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> 40~60m <sup>2</sup> /缶	2~3	3時間 以上	—	中毛ローラー エアレス

## ■適用下地

タイル張り仕上げ壁面、現場打ちコンクリート、PC、モルタル、石綿スレート、石材(大谷石等)、れんがなど

## ■包装単位

ダイヤハイセラガード………12kg缶

## ■施工・保管上の注意点

- ①材料は冬期は屋内で、その他の季節では直射日光や雨に当たらない場所で保管してください。
- ②施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上り不良、剥離などの不具合が発生し、本来の性能を発揮出来ないおそれがあります。
- ③施工する場合、飛散する可能性がありますので養生を充分行ってください。
- ④材料は危険物第4類第1石油類に該当します。取り扱いおよび保管には、充分火気に注意してください。
- ⑤材料の取り扱いには、有機溶剤用保護手袋を着用し、皮膚に触れないようにしてください。  
皮膚に付着した場合は、ただちに水または石けん水で洗い流してください。
- ⑥目地部は塗り残しがないように丁寧に塗装し、また水平目地部に材料が残らないよう充分に注意してください。
- ⑦タイル面は素地の吸い込みがなくタレを生じやすいので、一度に厚塗りしないようにしてください。
- ⑧材料は透明なので、塗り残しがないように充分に注意して施工してください。
- ⑨材料は薄めずそのまま使用してください。
- ⑩塗布量は下地の吸込み状態によって、工程表の標準塗布量と異なる場合があります。
- ⑪使用した器具の洗浄は、ダイヤシンナーLを使用してください。
- ⑫張りタイル面に施工する場合は、フッ酸系、フッ化アンモニウム系の洗浄剤は避けて下さい。また、酸性やアルカリ性が残るとタイル面に白化や汚染を生じますので、十分に中和して下さい。
- ⑬材料は使いきれぬ量をバケツに入れ施工して下さい。材料をバケツに残したまま放置し、翌日使用しますとベタツキ、艶ムラの原因となりますので注意して下さい。ローラーは常に清浄なものを使用して下さい。
- ⑭注入用エポキシ樹脂はタイル表面に残らないよう注意して下さい。汚染した部分は溶剤にて完全に除去して下さい。白化・黄変の原因となります。
- ⑮施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。
- ⑯施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。



DYFLEX

株式会社 **ダイフレックス**

取扱店

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル

☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021

URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。